

最も環境負荷の小さい製品を最も環境負荷の小さい工場で作ります。 世界トップクラスの省エネルギーを実現した寄居工場。



フィットを生産する寄居工場は、人と環境に配慮した「最も環境負荷の小さい製品を最も環境負荷の小さい工場で作ります」ことをコンセプトに、Hondaの最先端の生産技術と高効率な生産体質の構築により、世界トップクラスの省エネルギーを実現した工場です。Hondaは、環境商品の生産や生産技術の低炭素化に関して、次世代に必要な高度な技術を寄居工場で確立し、世界の拠点に水平展開していきます。そしてまた、寄居工場は、周辺地域・自然環境との共生を目指す環境配慮型工場でもあります。約1.6万m²のビオトープをはじめ、敷地面積約95万m²のうち34%に当たる約32.6万m²を生物が生育可能な緑地や水辺による構成とし、希少動物種の保全などに取り組んでいます。

Hondaは、寄居工場を、27カ国に展開する生産拠点のマザー工場の1つと位置づけ、「良いものを早く、安く、低炭素でお客様にお届けする」ことにチャレンジを続けていきます。

■寄居工場における主な最先端環境技術

- 小型車の生産に特化し、生産エネルギーを30%低減
小型車生産に特化し、それに合わせた設備、技術を投入することで、きわめて高効率な生産体質を構築。1台当たりの生産エネルギーを、従来工場比で30%低減*1しています。
- 国内自動車工場最大の2.6MWメガソーラー発電
2013年8月には国内自動車工場最大(Honda調べ)となる合計2.6MWの発電能力を確保する予定です。
- 天然ガスコージェネレーションでエネルギーを自前確保
天然ガスコージェネレーションシステムで、電気・熱エネルギーを約28%自前化し、ピーク電力を約45%低減しています。
- 新開発の塗装技術で、CO₂の排出量を40%低減
新たに開発した塗装技術「Honda Smart Ecological Paint (Honda S.E. 塗装)」と、併せて新開発した壁掛け塗装ロボットシステムを導入。従来工場に比べて塗装ラインの長さを40%短縮し、CO₂排出量を40%低減しています。

*1 埼玉製作所狭山工場との比較。



埼玉製作所寄居工場 鳥瞰写真

<埼玉製作所寄居工場概要>

所在地 : 埼玉県大里郡寄居町
敷地面積 : 約95万m²(緑地28万m²を含む)
生産能力 : 年産25万台(フル稼働時)
従業員数 : 約2,000名



埼玉製作所寄居工場 外観